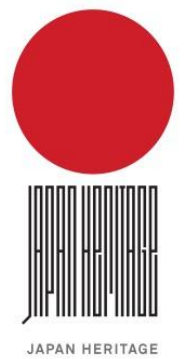




～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

針江・霜降



JAPAN HERITAGE
日本遺産

はりっしも
Harisshimo vol.4 2016.12

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

湧き水と自然の町
小さな川がある

Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。



新しい湧き水ができました！ 住民の手による掘削作業

カバタ誕生プロジェクト日記

霜降区長 長谷川 廣志

■この周辺は湧水個所が多くあるため、カバタ設置作業は業者に任せず、協議会役員での作業を進めることにしました。それでは地下水が自噴するまでを作業日記で振り返ってみたいと思います。

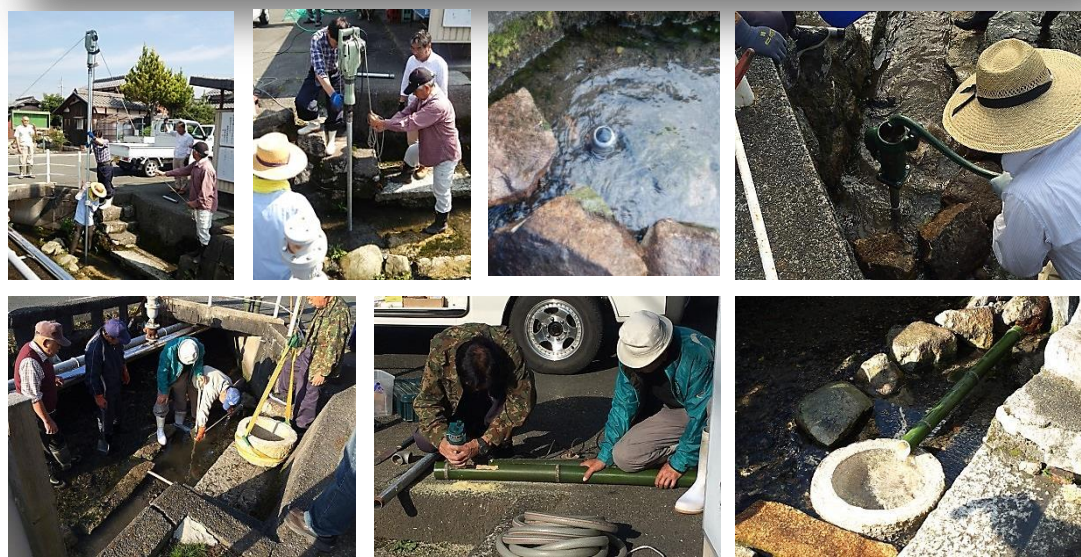
■6月18日(土)晴れ、午前9時作業開始、先の尖った4mの井戸用パイプを打ち込む。障害物もなくパイプは地下へと進む。パイプの中の泥や砂を手押しポンプで除く。地下水が自噴、成功である。

※ところが、7月中旬になり水が一滴も出てこなくなりました。

■7月18日(月)晴れ、午前7時半より作業開始、パイプの中に泥や砂が溜り自噴を妨げているのではないかと除去作業を行うも自噴せず、地下水層の探索に挑戦することに。パイプの深さ6mそして8mとパイプを打ち込むが自噴せず、本日の作業を断念帰宅する。昼過ぎ再度挑戦しようとの声がかかり、午後2時集合。深さ4mに戻す作業に取り掛かるが、自噴の兆候なし。試行錯誤を重ねるが成果得られず。夏の暑さと水が出ない焦りで疲れが倍増、この日は作業終了。

■8月13日(土)晴れ、午前7時作業開始。周辺の湧水がヒントとなり、パイプの深さ3mと浅い所でトライ。出た！自噴している！しかし、喜んではいられない。過去の湧水を経験しているので、じっくり様子を見ることにしよう。

■11月13日(日)晴れ、自噴問題なし。午前8時作業開始、パイプをあお竹で覆う。そして、石うすを設置。思いのほか長時間の作業となりました。今日も順調に清流が、石うすへと流れております。地域の皆さん、ご協力ありがとうございました。これからもこの『カバタ』をよろしくお願いいたします。



はりっしも探索

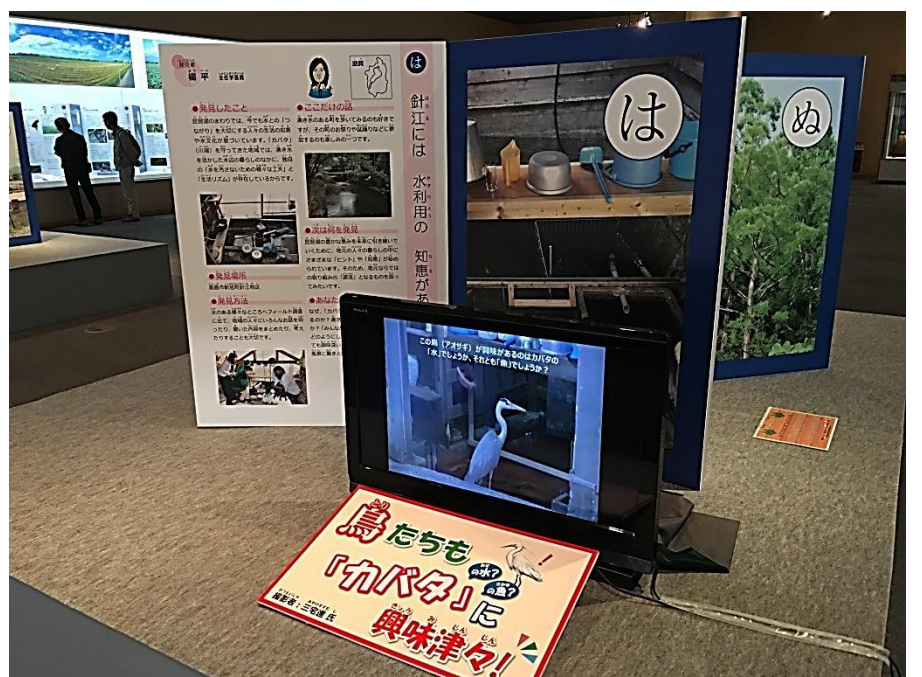
琵琶湖博物館にて
針江生水の郷展開催されました



■「今年の針江は何やら騒がしい」そうお感じの方が多いと思います。重要文化的景観地区に選定された上に、昨年は「日本遺産」の構成要素に！でも、賑わいは針江だけではないんです。ニュースで既にご存じと思いますが、「琵琶湖博物館」がリニューアルを機に益々、針江に関する展示が充実しています。9月には新空間において「針江生水の郷展」を開催しました。委員会の設立から現在に至るまでの年表や色々な活動を紹介させて頂きました。

また、博物館の学芸員 楊平さんが針江を担当されていて、多くの展示を手掛けています。常設展示のC展示室にはもちろんですが、企画展示「びわ博カルタ」の中にある「いろはカルタ」の内「は」は「針江には水利用の知恵がある」のカードがあります。また、映像ではカバタにアオサギがトコトコと入ってきたり、カバタや石津川の綺麗な水中を泳ぐ鯉の映像など展示されています。新しくなった琵琶湖博物館を是非覗いてみてください。詳しくは「琵琶湖博物館」を検索で！<http://www.lbm.go.jp/>

三宅 進



琵琶湖博物館 展示会場